

電通 未来予測支援ラボ

生活者が考える 「2028年の未来生活」調査

株式会社 電通
ソリューション開発センター
フォアキャスト研究部
齊藤 徹

電通フォアキャスト研究部(未来予測支援ラボ)

未来予測支援ラボは、ポスト2020の社会や産業、生活などについて、「未来予測データベース」、アイディエーションメソッドなどを用い、未来を読み解くためのさまざまな視点を提供しています。

調査主旨

- ・AI、ロボット、IoT、シェアエコノミー、フィンテックをはじめとして、近年第4次産業革命と呼ばれる急速な技術革新が進みつつあります。これらイノベーションは、少なからず私たちの未来生活に影響を及ぼすことが予想されます。
- ・また近年の中国、インド、アジア各国の経済躍進に象徴されるように、グローバルエコノミーもダイナミックな変化を遂げつつあります。
- ・日本国内に目を転じれば、人口減少、高齢化、社会格差の拡大など、さまざまな社会課題が浮上してくるなか、一方で多様性を認め合う社会、女性や若者、高齢者が活躍できる社会づくりなどが、改めて重要な施策として注目されています。
- ・本調査においては、上記のような「今後起こりうると考えられる未来」における、さまざまな社会変化や技術予測に対して、実際の生活者はどのように捉えているかを調査してみました。
- ・生活者の人々が望ましいと考えている未来の姿、または実現するであろうと考える未来の姿など、さまざまな視点から照射いたします。

調査概要

調査実施日： 2018年6月
調査手法： インターネット調査
調査対象： 全国に住む20~69歳の男女(1000サンプル)
男女 × 20~60代(10代毎) 各100サンプル
質問数: 32問(自由回答1)

10年後の「なっほしい/なっほいる」日本社会

下記60問を設問とし、それぞれ「なっほしいか(期待)」「なっほいるか(実現)」を聞いた。

日本	日本は新しい産業創出を果たし、再び世界のトップに躍り出ている	能力評価が適正になされ、転職することがごく当たり前の社会になっている
	日本の景気が回復し、日本人は再び豊かな生活を享受するようになっている	副業が認められ、複数の仕事につく働き方が一般的になっている
	社会格差が是正され、平等で適正な社会配分が実現された社会となっている	自宅や地方で働くなど、働き方のスタイルが多様化している
	人々の日常生活での節約マインドが広く浸透し、質素生活を享受するようになっている	低成長であっても、幸福感を持ち暮らせる社会が実現できている
	女性の社会活躍が一層進み、企業の中で女性の管理職比率も30%を超えている	働き方改革により日本人の労働生産性は飛躍的に向上している
	日本は積極的に外国人移民を受け入れるようになり、共生社会が実現されている	夫婦ともにフルタイムで働きながら子育てが可能な社会になっている
	ロボット開発やAIを活用したビジネスで、日本は世界のトップランナーになっている	お金より自分が好きなことを仕事として選ぶ人が増える社会になっている
	アニメやオタクカルチャーなどのジャパンコンテンツが日本の大きな主要産業になっている	東京や都市部ではなく、地方で暮らすことが豊かな暮らしと捉えられる社会になっている
	日本への観光旅行客数が大幅に増加し、観光業が日本の主要産業になっている	高齢期になっても安心して暮らすことの出来る社会が実現できている
	日本の農業や食品業が6次産業化し、主要な輸出・観光産業になっている	増加する空き家を活用した新しい暮らし方や住まい方が生まれている
	日本の軍事防衛力は増強され、国際的にも認められた国になっている	電子ホログラフィが実用化し、立体映像(3D)技術を活用した映像が一般的になっている
	日本を誇りに思う気持ち、日本への愛国心が一層高まっている	壁面スクリーン、家具、広告看板、さらにはメガネやコンタクトレンズでもまばたきをすれば、ネットにつながるようになっている
社会・生活	高齢化問題を解決するための産業、商品やサービスが多数生み出されている	多言語を翻訳する技術が日常生活で普通に使われ、自動翻訳するテレビ電話や携帯端末が普及している
	風力、地熱発電などの再生可能エネルギー利用率が現在よりも大幅に高まっている	自動運転が、業務利用など一部の分野で実現されている
	地域包括ケア社会が進み、介護不足問題は解消されている	電気自動車や水素自動車の普及が安価になり、より一般的になっている
	災害の発生を事前予測できるシステムが開発され、被害を最小限におさえることが可能となっている	HEMS太陽光発電など、家庭での創・省・蓄エネが広く普及している
	セキュリティ対策が強化され、サイバーテロのない社会になっている	企業や工場、都市などで環境に負荷をかけないテクノロジーが広く普及している
	少子化の歯止めがかかれ、人口減少のペースもゆるやかになっている	ドローンを活用した物流輸送が実現しており、宅配ドローンが活躍している
	日常の健康管理意識は現在よりも高まり、予防意識が身に付いている	人型ロボットが家庭生活に導入され、日常生活のアシスタントを行うようになっている
	日常で、環境問題に配慮した生活行動や商品選択意識が身についている	日常生活の中での、AI活用は一般的となり、スマホやAIスピーカーが活用されている
	子どもから高齢者まで、希望する人が必要な教育の機会を得られる社会になっている	自分のパーソナルデータを活用して、手軽に洋服などがネットでオーダーできるようになっている
	シェアリングエコノミーが進み、車や住宅などさまざまな分野での共有化が進んでいる	個人のヘルスデータをもとにした食品や運動のリコメンドが提供されるようになる
	多世代の人々が近所付き合いなどの地縁や、仕事などで支えあう社会になっている	3Dプリンターが一家に1台普及し、ちょっとしたものであればすぐに作成できるようになっている
	多くのNPOが生まれ、社会貢献やボランティア活動が活発化している	あらゆるものが情報化した住宅(スマートハウス)が普及し、日常生活の利便性が大幅に高まる
	環境問題や社会課題の解決のために企業やNPO、一般人が国を超えて協力している	発電効率が大幅に上昇した太陽光発電が普及し、自宅の電気はほぼまかなえるようになる
	人生100歳時代となり、高齢者でも多様な働き方が選択でき年齢による差別がなくなっている	感情をもったロボットが自宅にはいつくようになる
	性差や男女の差別がなくなり、多様性を許容する意識が高まっている	店舗に出かけることなく、ネットスーパーでほとんどの食材や日用品が届けられるようになる
	障害者に対して、バリアフリーをはじめ全ての面において優しい社会になっている	住宅も大型の3Dプリンターで建築できるようになる
	LGBTを含む性的少数者=セクシュアル・マイノリティに抵抗感を持つ人がいない社会になっている	あらゆる購買行動がキャッシュレスになる
	お試し婚や別居婚、事実婚など、今までと異なる緩いつながりの結婚のあり方が広がっている	

上記に加えて「あてはまるものはない」

10年後の「なっしてほしい/なっている」日本社会

10年後になっしてほしい社会ランキング

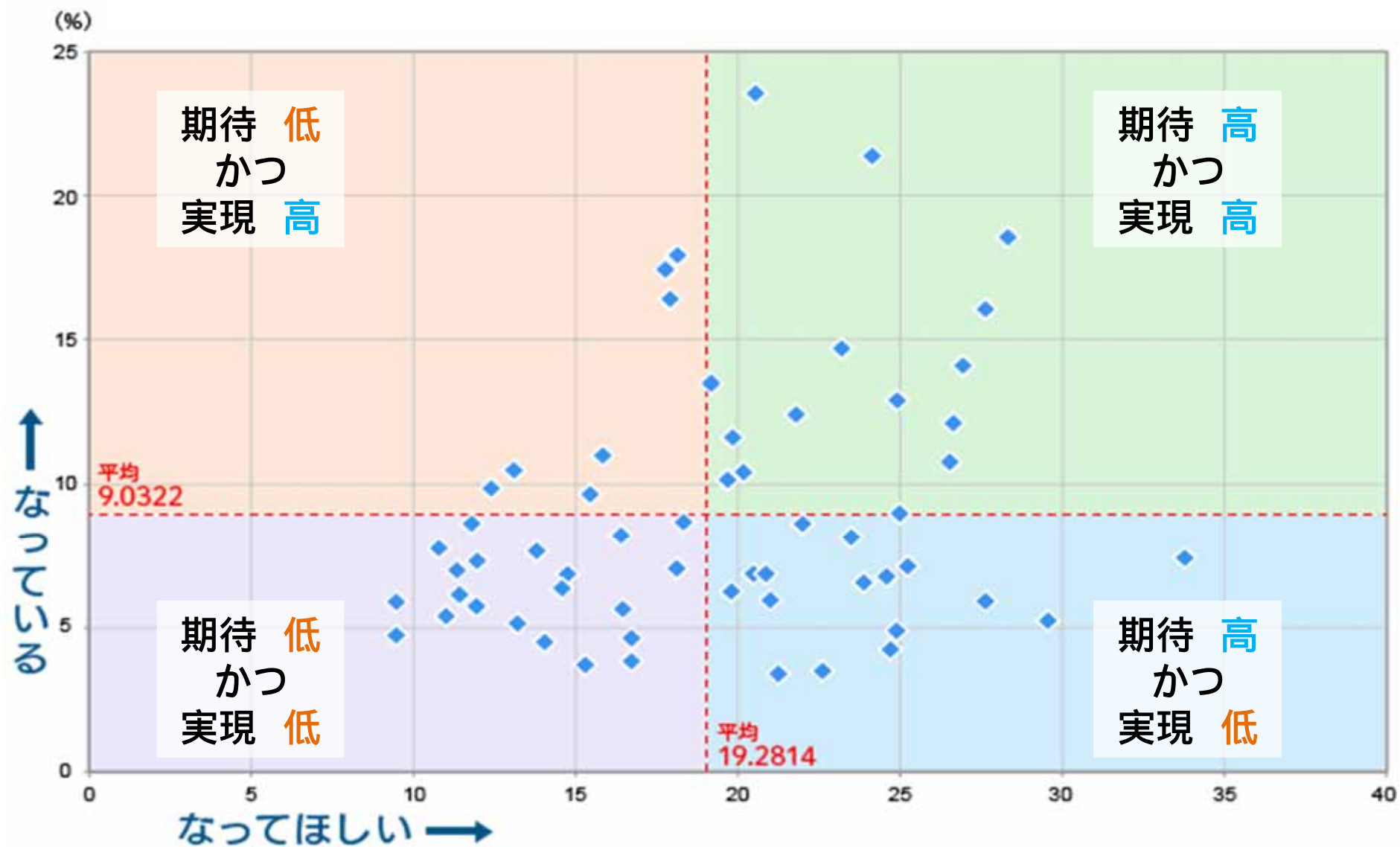
	ジャンル	内容
1	少子高齢化	高齢期になっても安心して暮らすことの出来る社会が実現できている
2	景気経済	日本の景気が回復し、日本人はより豊かな生活を享受するようになっている
3	テクノロジー	電気自動車や水素自動車の普及が安価になり、より一般的になっている
4	働き方・暮らし方	自宅や地方で働くなど、働き方のスタイルが多様化している
5	景気経済	低成長であっても、幸福感を持ち暮らせる社会が実現できている
6	少子高齢化	高齢化問題を解決するための産業、商品やサービスが多数生み出されている
7	環境・エネルギー	風力、地熱発電などの再生可能エネルギー利用率が現在よりも大幅に高まっている
8	働き方・暮らし方	夫婦ともにフルタイムで働きながら子育てが可能な社会になっている
9	防災セキュリティ	災害の発生を事前予測できるシステムが開発され、被害を最小限におさえることが可能となっている
10	ダイバーシティ	障がい者に対して、バリアフリーをはじめ全ての面において優しい社会になっている
11	少子高齢化	少子化の歯止めがかけられ、人口減少のペースもゆるやかになっている
12	働き方・暮らし方	増加する空き家を活用した新しい暮らし方や住まい方が生まれている
13	防災セキュリティ	セキュリティ対策が強化され、サイバーテロのない社会になっている
14	ダイバーシティ	子どもから高齢者まで、希望する人が必要な教育の機会を得られる社会になっている
15	テクノロジー	自動運転が、業務利用など一部の分野で実現されている

10年後になっしていると考える社会ランキング

	ジャンル	内容
1	テクノロジー	店舗に出かけることなく、ネットスーパーでほとんどの食材や日用品が届けられるようになる
2	テクノロジー	自動運転が、業務利用など一部の分野で実現されている
3	テクノロジー	電気自動車や水素自動車が安価になり、より一般的になっている
4	テクノロジー	あらゆる購買行動がキャッシュレスになる
5	テクノロジー	日常生活の中での、AI活用は一般的となり、スマホやAIスピーカーが活用されている
6	テクノロジー	ドローンを活用した物流輸送が実現しており、宅配ドローンが活躍している
7	働き方・暮らし方	自宅や地方で働くなど、働き方のスタイルが多様化している
8	働き方・暮らし方	副業が認められ、複数の仕事につく働き方が一般的になっている
9	少子高齢化	高齢化問題を解決するための産業、商品やサービスが多数生み出されている
10	テクノロジー	多言語を翻訳する技術が日常生活で普通に使われ、自動翻訳するテレビ電話や携帯端末が普及している
11	働き方・暮らし方	増加する空き家を活用した新しい暮らし方や住まい方が生まれている
12	健康・介護	日常の健康管理意識は現在よりも高まり、予防意識が身に付いている
13	環境・エネルギー	風力、地熱発電などの再生可能エネルギー利用率が現在よりも大幅に高まっている
14	テクノロジー	人型ロボットが家庭生活に導入され、日常生活のアシスタントを行うようになっている
15	テクノロジー	あらゆるものが情報化した住宅(スマートハウス)が普及し、日常生活の利便性が大幅に高まる

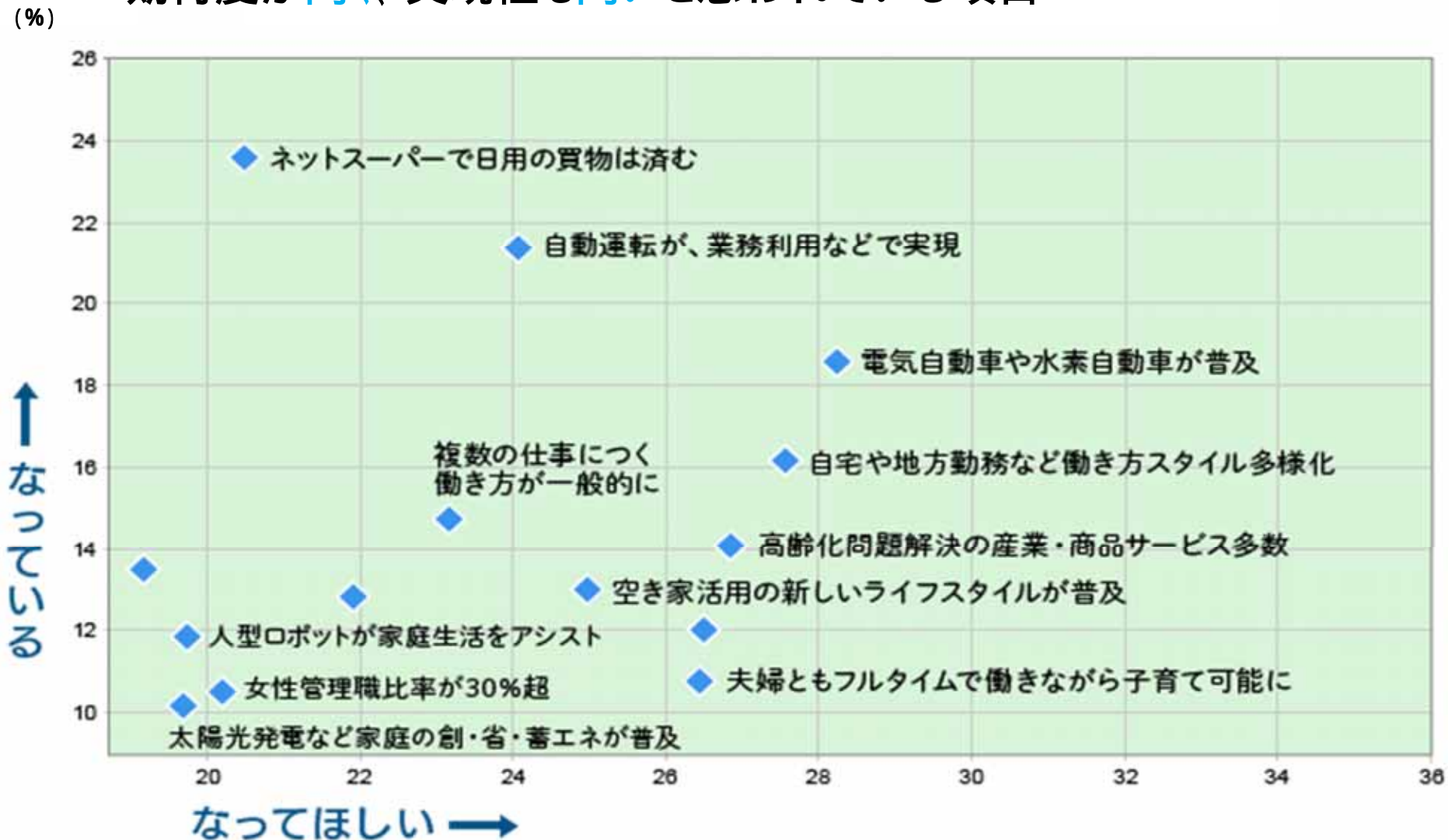
10年後の「なっしてほしい/なっている」日本社会

横軸に「なっほしい」縦軸に「なっている」と設定し、設問をそれぞれプロットした。



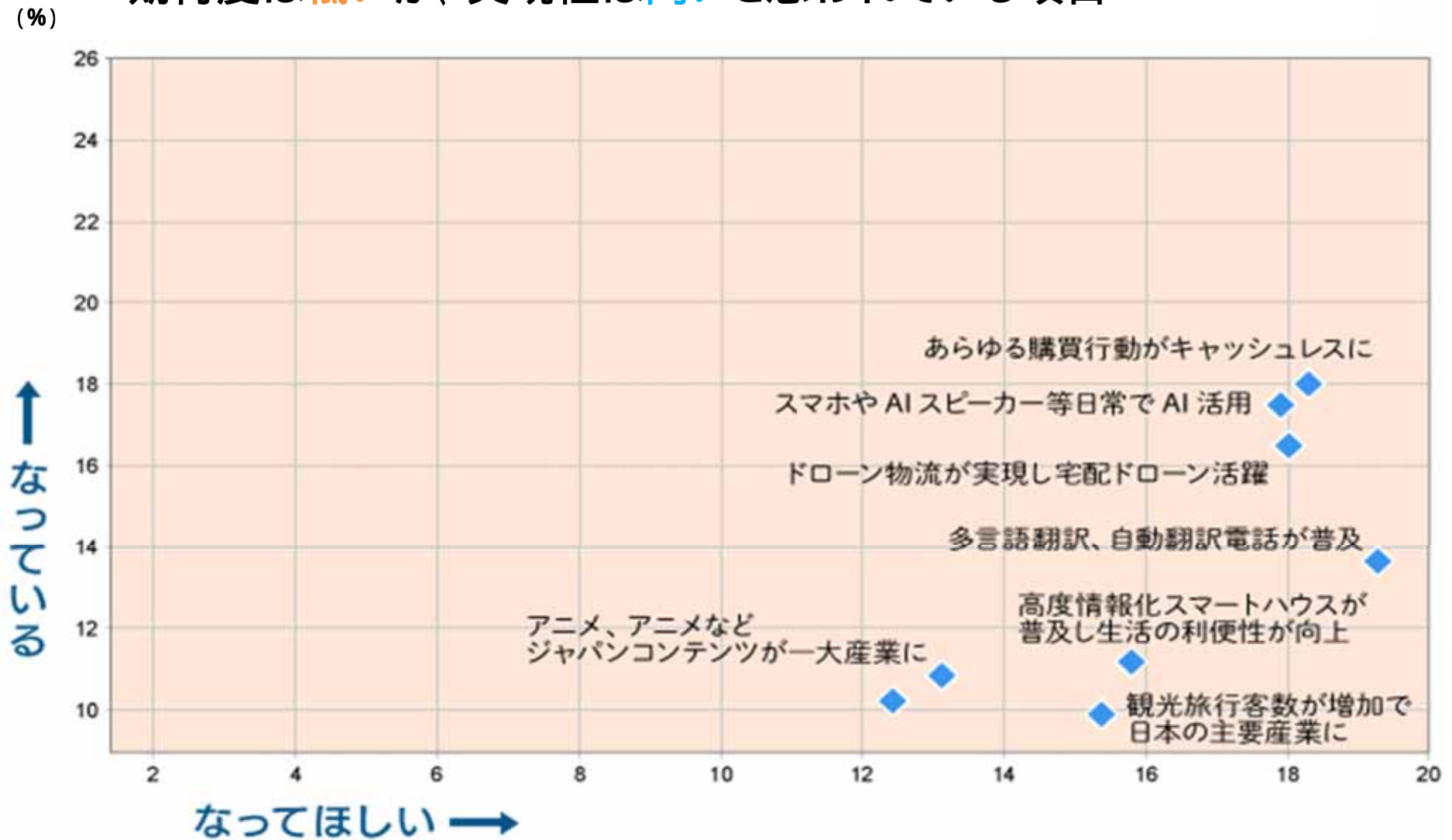
10年後の「なっしてほしい/なっている」日本社会

期待度が**高く**、実現性も**高い**と思われる項目



10年後の「なっしてほしい/なっている」日本社会

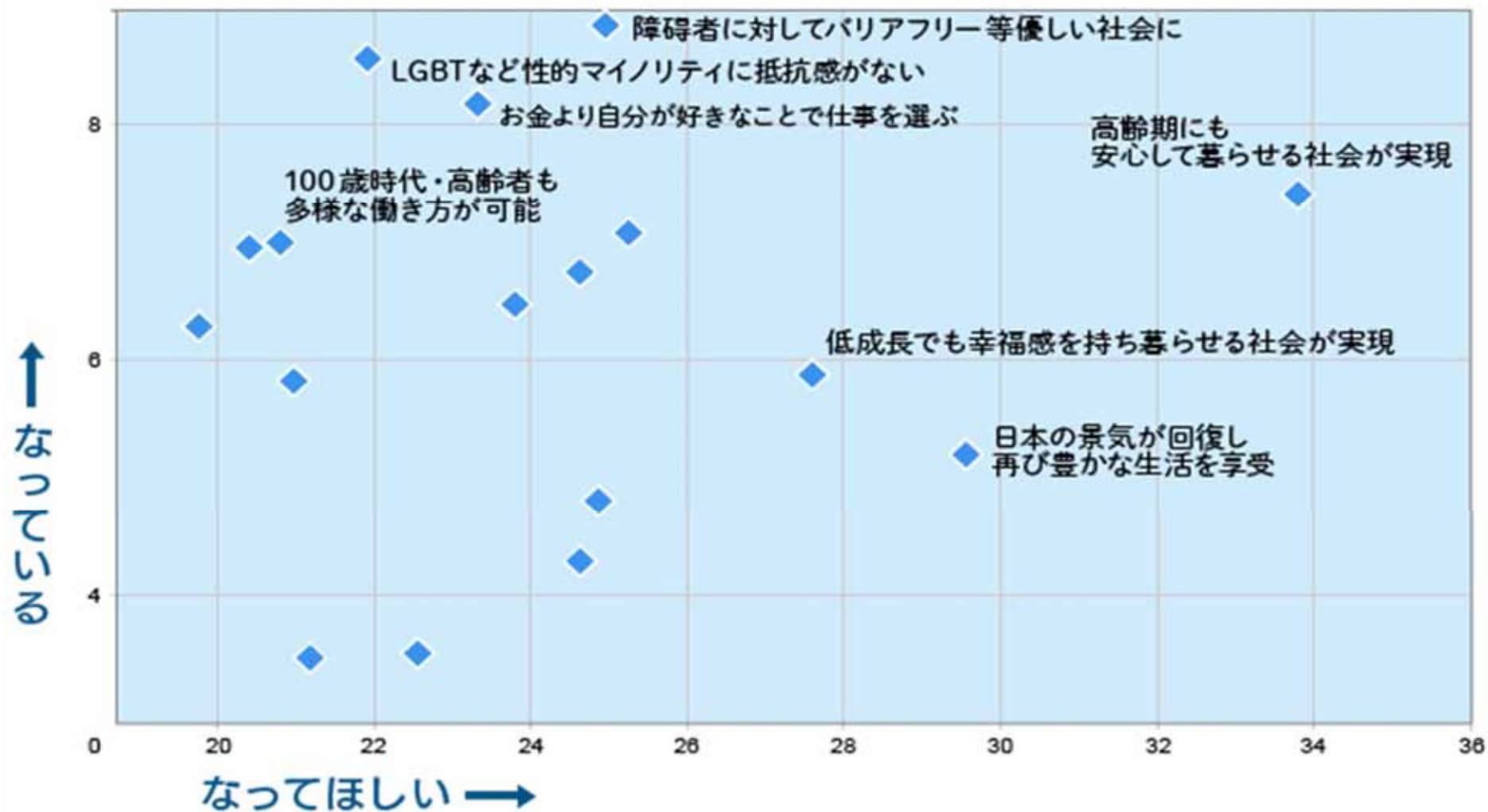
期待度は低いですが、実現性は高いと思われる項目



10年後の「なっしてほしい/なっている」日本社会

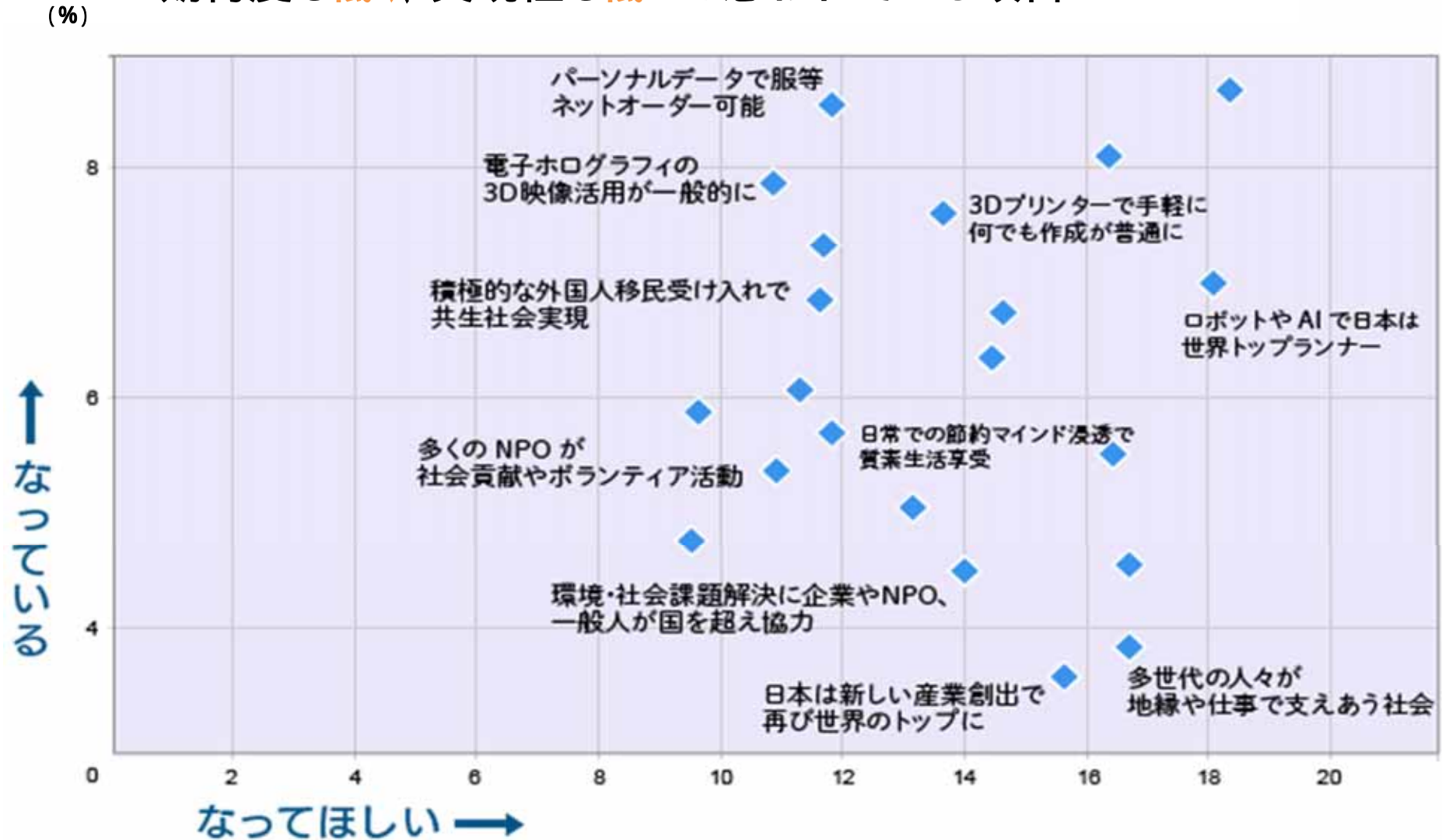
期待度は高いが、実現性は低いと思われる項目

(%)



10年後の「なっしてほしい/なっている」日本社会

期待度も低く、実現性も低いと思われる項目



10年後の「なっしてほしい/なっている」日本社会

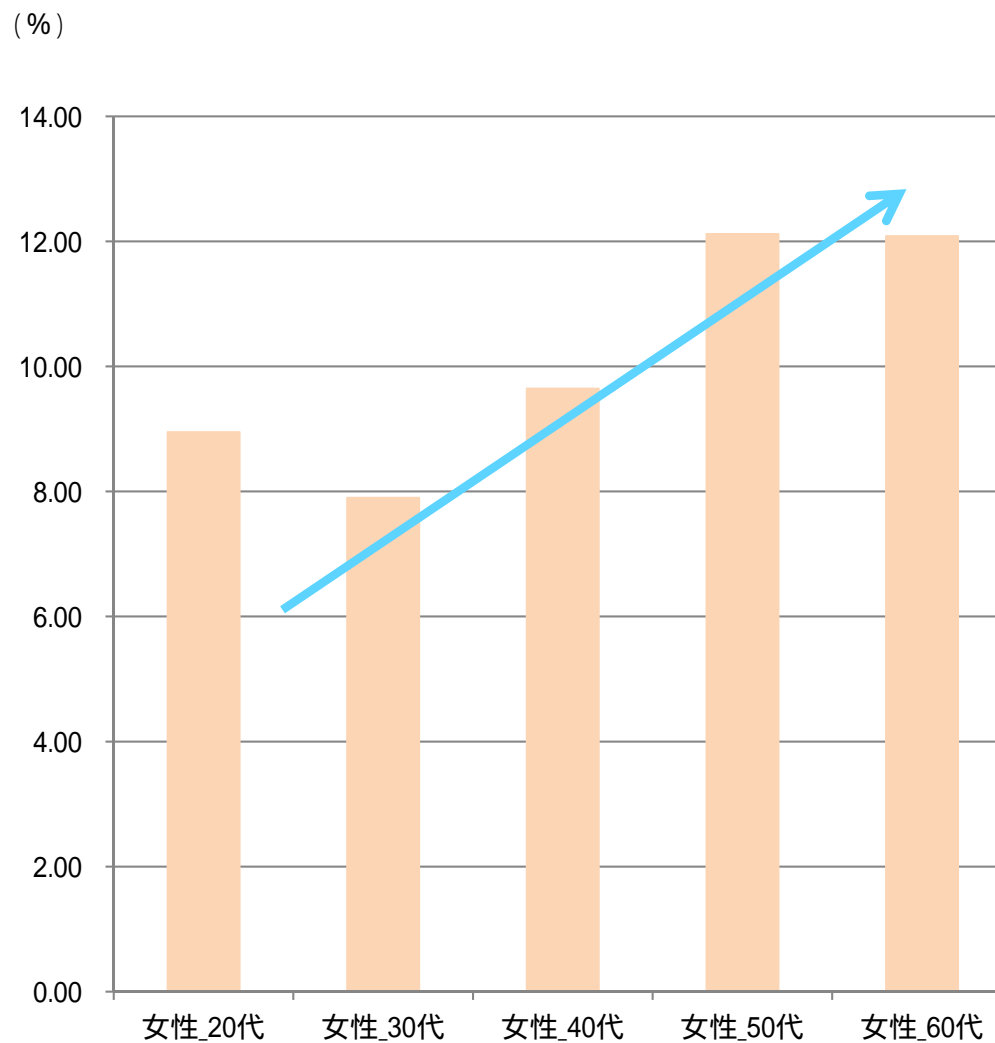
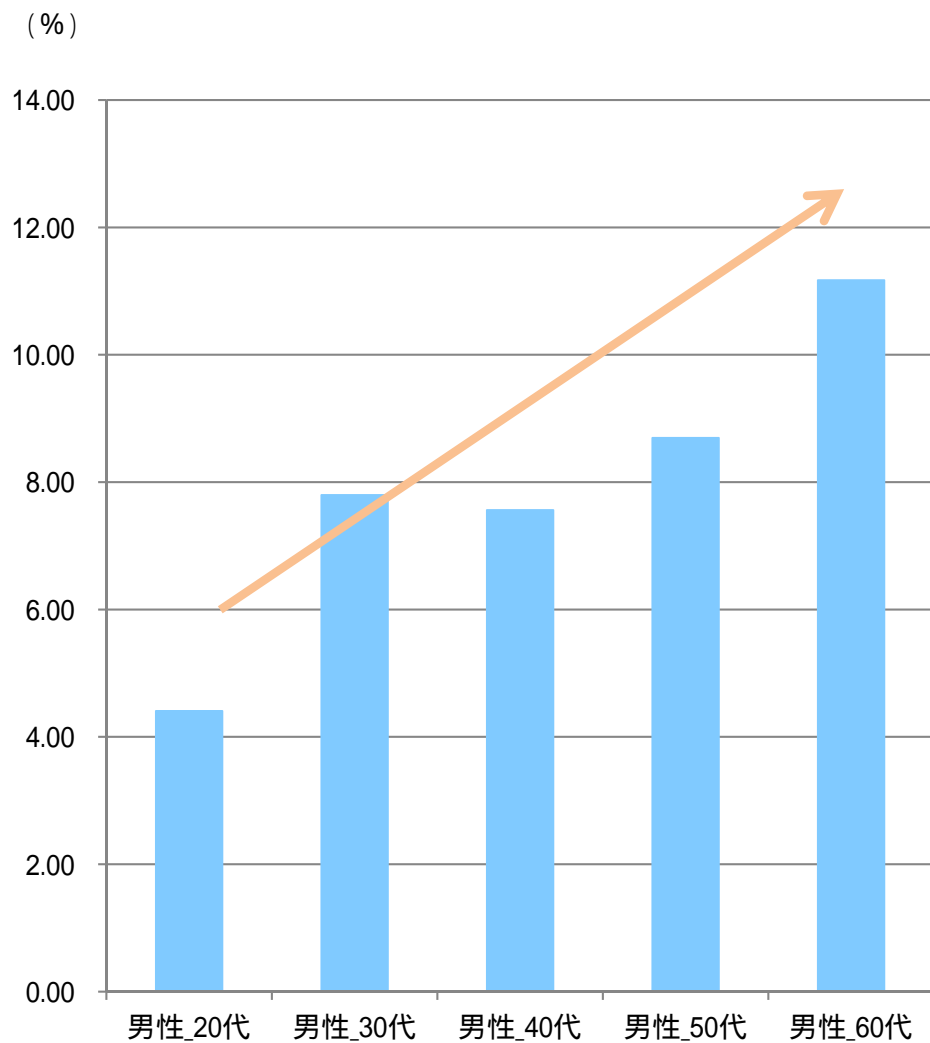
2つのランキング(なっほしい社会/なっている社会)のそれぞれのパーセンテージを偏差値化し、合算したものをトップ10とした。

総合ランキング

	項目
1	電気自動車や水素自動車の普及が安価になり、より一般的になっている
2	自動運転が、業務利用など一部の分野で実現されている
3	店舗に出かけることなく、ネットスーパーでほとんどの食材や日用品が届けられるようになる
4	自宅や地方で働くなど、働き方のスタイルが多様化している
5	高齢化問題を解決するための産業、商品やサービスが多数生み出されている
6	高齢期になっても安心して暮らすことの出来る社会が実現できている
7	副業が認められ、複数の仕事につく働き方が一般的になっている
8	増加する空き家を活用した新しい暮らし方や住まい方が生まれている
9	あらゆる購買行動がキャッシュレスになる
10	夫婦ともにフルタイムで働きながら子育てが可能な社会になっている

10年後の「なっしてほしい/なっている」日本社会

「なっほしい社会」60項目の平均回答パーセンテージを男女年代別に見た。
概ね、どの回答も年齢が高くなるほど、反応も高い傾向となっている。



10年以内に実現する技術 / ポジティブな影響を与える技術

下記30問を設問とし、それぞれ「実現する技術」「(社会に)ポジティブな影響を与える技術」を聞いた。

バーチャル医療(たとえば優秀な医師が遠く離れたところから患者を治療する)
自動運転車(人間が運転しなくても、自動で走行できる車が公道を走るようになる)
3Dプリンター工場(ひとつの機械でいろいろなものを生産できる「3Dプリンター」によって、注文を受けてから生産する工場が多くなる)
人工知能/AI(人間のように会話できたり自分で物事を判断できる人工知能が生活の様々な場面に普及する)
シンギュラリティ(人間よりも賢く、ますます賢くなっていく人工知能が出現し、社会を大きく変える)
IoT(ウェアラブルや家電や車などさまざまなものがインターネットにつながり、自分に合ったサービスを提供するようになる)
フィンテック(スマホでの手軽な決済や、人工知能を使った運用やサービスなど、多様で便利な金融サービスが利用できるようになる)
AR/VRエンターテインメント(スマホや特殊なメガネで見ると、実在しないものが見えるAR/VR技術が発達し、AR/VR遊園地などさまざまなサービスが登場する)
ビッグデータ解析(人の商品購入や行動や、機械や様々なもののデータが蓄積され、その分析をもとにした多様で便利なサービスが利用できるようになる)
再生可能エネルギー(風力発電などの再生可能エネルギーが普及し、化石燃料からの発電比率が下がる)
次世代原子力発電(新型の高性能な原子力発電が実現し、低コストでエネルギーを利用できるようになる)
スマートシティ(畜電池やスマートグリッドなどの環境配慮型都市化がすすむ)
ナノテクノロジー医療(極小のカプセルや機械が人間の血管の中を走り、これまで難しかった診断や治療を可能にする)
リニアモーターカー/超高速鉄道(東京-名古屋を40分、東京-大阪を60分で結ぶ高速鉄道が開通する)
オーダーメイド医療(個人の遺伝子情報をもとに、その人が掛かりやすい病気を予防したり、その人に合った治療を受けられる)
機械による外国語の同時通訳(AIなどを使い、外国語の同時通訳を機械が行えるようになる)
AIロボット(AIによって、人間が言葉で仕事を命令できて、家事手伝いをするロボットが登場する)
工場における食物の生産(植物栽培や動物飼育が機械で自動化され、より安価で衛生的な食料が提供される)
野菜や果物や食肉などの新品種開発イノベーション(栄養を多く含んでいたたり、疾病に強いなど目的にあわせた品種を自由に作れるようになる)
ドローン配送(空中を飛行して荷物を届けるドローンが、自宅まで荷物を宅配を行うようになる)
コンビニ・スーパーなど店舗の無人化(店員がいなくても、レジを通さなくても、買い物できる店舗が実現する)
ウェアラブルコンピュータ(メガネや腕時計備え付けでスマホやパソコンを操作できるようになり、今よりずっと便利で快適なインターネットサービスが登場する)
キャッシュレス決済(現金を使わずに、すべての買物や取引きがスマホなどで、電子マネーにより行えるようになる)
オンライン学習(従来の対面型の教育ではなく、インターネットを使った画面上でのオンライン学習システムが主流になる)
介護ロボット(介護する人をサポートしたり、介護される人が自分の意志で行動することをサポートするロボットが普及する)
ブレインマシーンインターフェース(人間の脳波を読み取り、頭の中で思っただけで機械や道具を動かせるようになる)
健康長寿ソリューション(生活習慣病やアルツハイマーやがんが克服され、健康寿命が延びる)
スマートホーム(住む人の状態に合わせて自動で消灯したり、使用するエネルギーを節約したり、施錠したりする家が普及する)
スマートビジネス(インターネット上でお金を集められるクラウドファンディングなどによって、個人が会社を起こす(起業する)ことが容易になる)
超小型EV(1人乗りの電気自動車が普及し、高齢者の移動などに利用される)

10年以内に実現する技術 / ポジティブな影響を与える技術

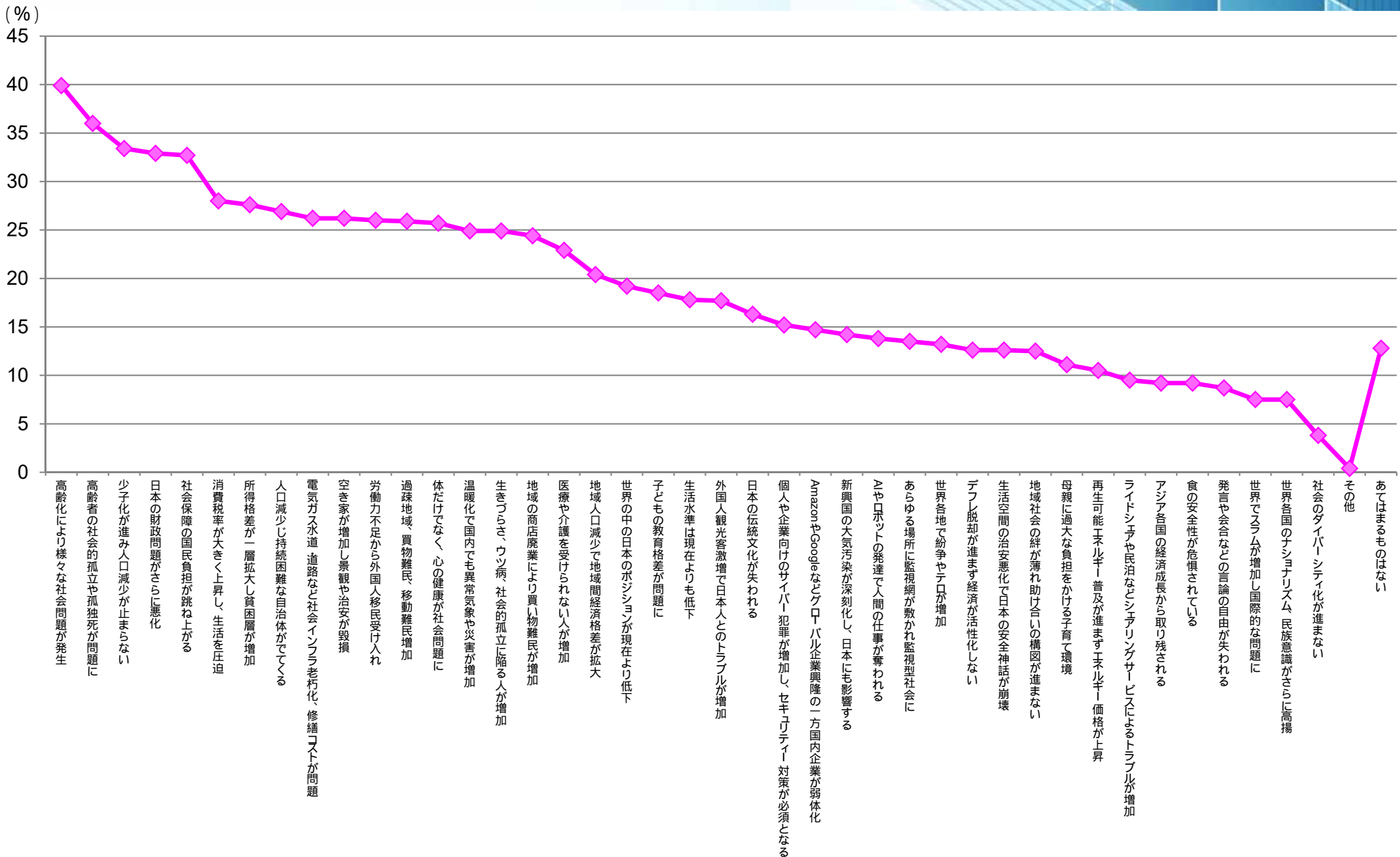
10年以内に実現する技術

	内容	%
1	キャッシュレス決済	39.9
2	自動運転車	34.1
3	人工知能 / AI	31.5
4	リニアモーターカー / 超高速鉄道	31.0
5	ドローン配送	30.4
6	コンビニ・スーパーなど店舗の無人化	29.5
7	AIなどによる外国語の同時通訳	27.7
8	オンライン学習	27.1
9	再生可能エネルギー	24.8
10	介護ロボット	24.3
11	バーチャル医療	23.0
12	IoT	22.1
13	AR / VRエンターテイメント	21.7
14	AIロボット	21.7
15	工場における食物の生産	21.2
16	スマートホーム	21.2
17	ナノテクノロジー医療	21.1
18	3Dプリンター工場	20.8
19	ウェアラブルコンピュータ	20.4
20	ビッグデータ解析	17.5

ポジティブな影響を与える技術

	内容	%
1	自動運転車	26.3
2	リニアモーターカー / 超高速鉄道	23.1
3	介護ロボット	23.1
4	AIなどによる外国語の同時通訳	22.8
5	再生可能エネルギー	22.5
6	ナノテクノロジー医療	21.7
7	キャッシュレス決済	19.4
8	バーチャル医療	19.2
9	ドローン配送	17.7
10	人工知能 / AI	17.3
11	オンライン学習	15.6
12	工場における食物の生産	14.5
13	AIロボット	13.9
14	スマートホーム	13.9
15	IoT	13.7
16	コンビニ・スーパーなど店舗の無人化	13.4
17	個人の遺伝子情報をもとにしたオーダーメイド医療	12.2
18	3Dプリンター工場	11.2
19	健康長寿ソリューション	11.0
20	AR / VRエンターテイメント	10.6

今後10年間でより深刻になると考えられる課題や社会問題



今後10年間でより深刻になると考えられる課題や社会問題

		内容	%
1	高齢化	高齢化により様々な社会問題が発生	39.9
2	高齢化	高齢者の社会的孤立や孤独死が問題に	36.0
3	人口減少	少子化が進み人口減少が止まらない	33.4
4	財政・社会保障	日本の財政問題がさらに悪化	32.9
5	財政・社会保障	社会保障の国民負担が跳ね上がる	32.7
6	暮らし・生活	消費税率が大きく上昇し、生活を圧迫	28.0
7	格差社会	所得格差が一層拡大し貧困層が増加	27.6
8	人口減少	人口減少で持続困難な自治体がでてくる	26.9
9	社会インフラ	電気ガス水道・道路など社会インフラ老朽化、修繕コストが問題	26.2
10	社会インフラ	空き家が増加し景観や治安が毀損	26.2
11	人口減少	労働力不足から外国人移民受け入れ	26.0
12	暮らし・生活	過疎地域、買物難民、移動難民増加	25.9
13	暮らし・生活	体だけでなく、心の健康が社会問題に	25.7
14	環境・温暖化	温暖化で国内でも異常気象や災害が増加	24.9
15	暮らし・生活	生きづらさ、うつ病、社会的孤立に陥る人が増加	24.9
16	暮らし・生活	地域の商店廃業により買い物難民が増加	24.4
17	暮らし・生活	医療や介護を受けられない人が増加	22.9
18	格差社会	地域人口減少で地域間経済格差が拡大	20.4
19	日本経済	世界の中の日本のポジションが現在より低下	19.2
20	暮らし・生活	子どもの教育格差が問題に	18.5